

# 豆田町並み通信

第53号

発行者  
豆田町伝  
建保存会  
26年3月

## 日田市町並み保存審議会開催

平成二五年度  
第二回

平成二五年度第二回目の町並み保存審議会が、二月八日（土）日田市役所で開催されました。

会議では、継続審議となっていた物件について、新築二階家を平屋の模様替えへと設計変更する事で、修景基準に合致するとして了承されました。

更に二十六年度事業として、伝建保存事業として一件（継続事業）、街なみ環境整備事業として三件（主屋一件、木塀二件）の修理・修景事業を承認しました。



町並み保存審議会に出席した委員の皆さん

また防災事業として、旧古賀医院の車庫棟を防災詰所として整備する事、更には旧船津歯科を公開施設として整備することも併せて承認されました。

また、街なみ環境整備事業のなかの公園整備事業として、丸山町の永山布政所跡地をポケットパークとして整備する事も報告されました。

尚、現在修理中の古賀医院診療棟の完成が平成二十六年の夏にずれ込む事が報告され、併せて正式名称を「豆田まちづくり歴史交流館」とする事も了承されました。



ポケットパークとして整備される事になった、丸山町の永山布政所跡地

## 流し雛行事盛大に！

豆田観光協議会主催の恒例の「流し雛行事」が、三月二日（日）桂林荘公園の特設ステージで行なわれました。

天気にも恵まれ、遠くは茨城県日立市からの観光客も訪れ、用意した八百個の「流し雛」は二時には終了しました。

宮崎県日南市から訪れた親子は、「こうした行事がある事は全く知りませんでした。子供の健康を願って書きました」と感想を語ってくれました。

多くの子供が「流し雛」に「字がうまくなりますように」「計算ができますように」「書かれた中に、福岡からきた女の子は「AKB」になれますように」と書き、今のご時勢を表している様にも感じられました。



みんなの願いを込めて、特設ステージから流される「流し雛」

「流し雛」行事と併せて行なわれた竹内社中の「野点」には、多くの来訪者が押しかけ、緋もうせんを敷いた床縁に腰掛け、お菓子と抹茶の接待を受けていました。

また園内では立花社中の「琴の演奏」も披露され、観光客や地域の皆さんが春の一日をのんびりと過していました。



和服姿の女性から接待を受ける皆さん



優雅な琴の調べに聞き入る来訪者



## 文化財防火デー 防火訓練行なわれる！

一月二十六日（日）、第六十回文化財防火デーに併せて、豆田でも防火訓練が行なわれました。

特に本年は、昨年度港町公園入口に屋外消火栓が設置された事から、近隣住民にも消火栓の使用方法を熟知してもらおう為に港町公園にて実施され、伝建役員を含め三七名が参加しました。

消防署職員の説明を受け、住民の皆さんは④に見立てた的に向けて放水訓練を行ないました。

この後、伝建地区内に整備された十一基の屋外消火栓を三班に分かれて点検を行い、最後に防火水槽（六十トン、二基）についても併せて点検を行ないました。



放水訓練を行なう豆田地区の住民の皆さん

## 修理工事見学会開催！

一月三十日（木）、現在修理工事が行われている、旧古賀医院診療棟の「修理工事見学会」が二回に亘って開催され、延べ三十名の住民が参加しました。

最初に市職員から、古賀医院の建物の変遷について説明があり、続いて工事現場責任者から、左官工事・建具工事について説明が行なわれました。

左官工事を担当している原田さんから、「建築当時の漆喰の原材料は入手が難しく、全国を回って収集しました」と、伝建修理の難しさが説明されました。

また二階の旧院長室については特殊な漆喰文様があり、一部を保存した事や、分銅を使った格子の上げ下げ窓を主とした木製建具の復元について説明が行なわれました。



漆喰壁の復元修理の説明を受ける参加者

## 第二回川づくり懇談会開催！

二月四日（火）、第二回の「川づくり懇談会」が旧古賀医院の離れ座敷で開催されました。

筑後川河川事務所からは、①災害に強い川づくりとして、護岸や階段の改修、土砂の掘削②憩いの場となる川づくりとして散策路の改修③町なみと調和した川づくりとして置石の整備、イベント広場の整備などの方策が提案されました。

地元からは、丸山町側の散策路について日の出用水路の上流まで確保する事、また消防車用通路のうち丸の内側よりの坂路については、河川事務所が設置は困難として抹消されていた事から、丸の内町の消防利水の確保、出初め式の「花月川放水」時の消防車の移動利便の為に、河川への坂路の整備を要望しました。



豆田地区周辺の川づくりプランを協議した「川づくり懇談会」

## 初午祭行なわれる！

二月四日（火）廣瀬本家所有の源兵衛稲荷で、二月十六日（日）三本松の商工会議所横の稲荷様で、又三月九日（日）には中城町でそれぞれ初午祭が行なわれました。

祭りでは神官が祝詞を奏上し、参拝者は神を奉納し、地域の発展と家内安全を願いました。

三本松の稲荷様では、参拝者におみやげ酒が当たる福引きや、ぜんざいの接待が行なわれました。



上：源兵衛稲荷、中城本町稲荷  
左上：三本松稲荷での祝詞奏上  
左下：ぜんざいの接待を受ける参拝者

